

ID:	=患者情報!B1		(nab-PTX+キイトルーダ(200)) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2 殿						入院/外来	入力日
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7						
疾患名				開始日	年	月	日	
クール	キイトルーダ*:3週間毎 nab-PTX:3週投与1週休薬 1クール12週			診療科				
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発			医師名				
身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00 m ²	告知の有無	P S	
重要	B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。						<input type="checkbox"/> HBs抗原	
	※詳細については、「化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～」をご参照下さい。						<input type="checkbox"/> HBs抗体 <input type="checkbox"/> HBe抗体	

薬品名	単位	薬品名	単位	外来 化療 加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外
nab-PTX 100 (アブラキサン)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	ヘムプロリスマブ 200	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input checked="" type="checkbox"/> mg/body		

★ キイトルーダ+nab-PTX併用(Day1、43、64) ★

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
★ A	レスタミンコーワ錠 (10mg)	5錠	P.O	前投薬(注射)と同時に投与
	デキサート注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V	15分
	ファモチジン注 (20mg)	20mg		
	生食液 (50mL)	50mL		
★ B	生理食塩液 (50mL)	50mL	D.I.V	10分
	ヘムプロリスマブ注 [キイトルーダ]	200 mg	D.I.V	30分
	生食液 (50mL)	50 mL	D.I.V	10分
	生理食塩液 (50mL)	50mL		
★ C	アブラキサン点滴静注用 (ハクタイトセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液 (100mL) ※	100mL		

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

○ nab-PTX単剤(Day8、15、29、36、57、71) ○

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
○ A	レスタミンコーワ錠 (10mg)	5錠	P.O	前投薬(注射)と同時に投与
	デキサート注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V	15分
	ファモチジン注 (20mg)	20mg		
	生食液 (50mL)	50mL		
○ C	アブラキサン点滴静注用 (ハクタイトセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液 (100mL) ※	100mL		

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

△ キイトルーダ単剤(Day22) △

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
△ B	生理食塩液 (50mL)	50mL	D.I.V	10分
	ヘムプロリスマブ注 [キイトルーダ]	200 mg	D.I.V	30分
	生食液 (50mL)	50 mL	D.I.V	10分
	生理食塩液 (50mL)	50mL		

血漿分画製剤で、ロット番号の記録および保存が必要!

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
 1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

アブラキサンについて、インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

薬剤師へ:キイトルーダ混注時は必ずフィルター付きプライミングセットを使用して下さい。

	1Kur目												2Kur目				確認者	監査者
	Day	1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78	85	92			
キイトルーダ	★	○	○	△	○	○	★		x	↓	★	○		x	↓			
nab-PTX	↓	↓	↓		↓	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	x	↓	↓			

注意事項など

- 【払出し～回収まで】
- ①Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入+シール貼付する。 ※事前準備はしない
 - ②注射薬薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
 - ③看護部側へは、注射薬・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。
 ※注射薬には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
 (混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
 - ④看護部側は投与後、注射薬にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
 - ⑤薬剤部は、実施後の注射薬が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。